



ま とく れい こう 磨徳励行

自ら考え
進んで行動し
学び続ける
『キラリと光る励徳っ子』



校庭のウメも早めの開化 春はもうすぐ
第 38 号
R6.2.2発行
文責 永田 功臣

各学年の「性に関する指導」はいかがでしたか

26日(金)の授業参観には多数出席いただき大変ありがとうございました。1・2年、3・4年、5・6年に分かれて性に関する指導を行いました。それぞれの授業の目標は、「じぶんたちのからだのことをしよう」「いのちのつながりについて考えよう」「私たちはどのようにして誕生したのだろう」でしたが、保護者の皆様は参観されていかがでしたでしょうか。



授業参観後は、授業と関連させた「性の多様性について」のPTA研修が行われましたが、私自身、子どもたちが性に関して疑問や考えを投げかけてきたときに、思いに寄り添って、「生命の尊さ」や「個性」を大切に
返しが重要であると感じました。

保護者の皆様も授業や研修を通して感じられたことを整理していただき、お子様との対話の中で「性について」「命について」深めていただけたら幸いです。詮索より先策です。

お知らせ

企画委員会から相談があり「能登半島地震」で被災した方々に義援金を送ろうということになりました。授業参観の折には、保護者の方にも声をかけさせていただきました。結果、54,437円の義援金が集まりました。熊日を通じて送りたいと思います。

併せて書き損じハガキの回収も行いました。こちらは県の視覚障がい者福祉協会に送ります。

ご理解とご協力、大変ありがとうございました。

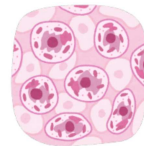
☆はうかう☆

～卒業・進級に向けて～

三学期の過ごし方
六年 島田 惇史
あと少しで中学生だと思うと、とてもドキドキしてきます。新しい学校生活が不安でいっぱいだからです。
三学期はまとめの時期なので、今まで学んだことをじゅうぶんにはっきりしていきたいです。そして、話を正しく聞くという苦手なところを直せる学期にしたいです。
三学期楽しみにしているのは、下級生からのサプライズです。とても期待しています。また、やりたいことはなわとび大会です。だれが一番とべるのかやってみたいです。
残りの日はあと少ししかないので、自分の弱点をこくふくしたり、たくさんさんの思い出をつくりして小学校生活を終わりたいし、六年生の良さを伝えて、今年よりもっと良い学校になるといいなと思います。
国語の作文より一部抜粋)

※「ふるさと」という言葉を大切にしています。自分たちの将来とともに、巣立っていく学校の未来も考える。そういう気持ちが伝わってきてうれしく思います。

もっとサイエンス



26日の授業参観では、それぞれの学年で「性」「個性」「生命」等について学びました。先日のがん教育の際にもお話がありましたが、人も含め生物は「細胞」と呼ばれる小さな部屋が集まってきており、それが分裂することで、成長したり、いろいろなはたらきをする細胞になったりします。その細胞には、設計図みたいなものが組み込まれており、分裂する際にはそれがコピーされます。

そこで疑問が生まれます。最初、人は受精卵という1つの細胞です。それでは何がきっかけで、分裂しながら、「目」や「心臓」、「手」などといった違ったはたらきをする細胞に変わっていくのでしょうか。

校長室の「胡蝶蘭」もそうです。葉の根元から同じように出てくるのに、「花芽」であったり、「根」だったりします。何をきっかけにしているのでしょうか。

「細胞の分化」ということらしいですが、詳しくは自分で調べてみてください。いずれにしても、何かをきっかけにして自分自身をつくっていくんですね。小学校がみんなの何かのきっかけになれば幸いです。